

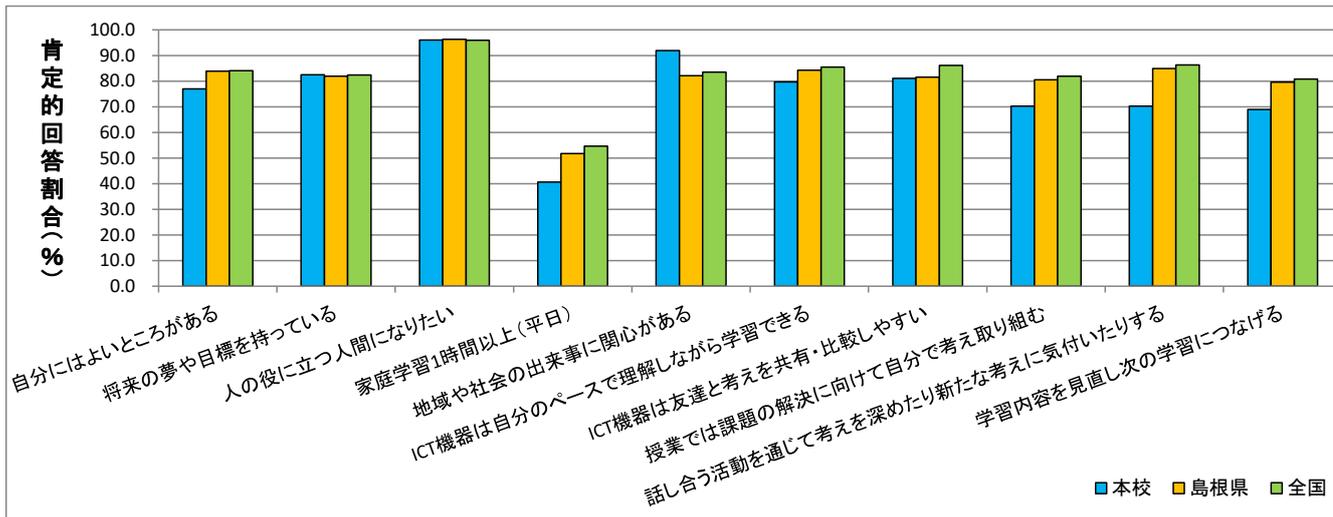
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策(・)
国語	○情報のメモから内容を読み取り、選択肢から答える問題は比較的よくできている。 ○「投げる」など日常的に使っている漢字はよく書けている。 ●要点的に捉え、まとめることが苦手。 ●作文の無回答率が高く、限られた条件の中で多くの文章を書くのは苦手。	・日記や授業のまとめや振り返りなど、書く時間を確保する。 ・要約したり、○○字以内、○○の言葉を使うなどの条件作文を取り入れたりする。
算数	○基本的・基礎的な力は身に付いている。 ●どのように課題を解決したのか、根拠を順序立てて説明することが苦手。 ●図形(特に立体)においての名称、特徴、公式などの基礎的な力が身に付いていない。	・やみくもに書くのではなく、必要なことを順序立てて説明して書く力をつける。 ・低学年からの、実物での操作的活動で図形感覚を養う。 ・タブレットドリルを活用し、教科書問題とは傾向の異なる応用問題にも取り組む。

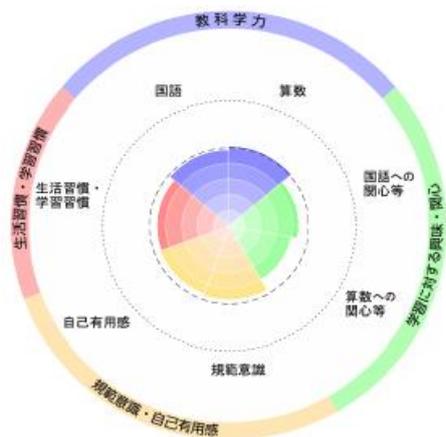
(2)質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策(・)
質問紙	○地域や社会の出来事に関心のある児童が多い。 ○ICTを活用して授業に取り組んでいる児童が多い。 ●自己肯定感に関する質問は、「どちらかといえば当てはまる」が多い。→否定的ではないが、強く否定するわけではない。 ●家庭学習に1時間以上取り組んでいる児童が少ない。	・違いを認め合えるような場を作る。 ・自主学習の内容を充実させる。 ・タブレットドリルを効果的に活用する。

(3)質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・文章に慣れ、すらすらと読んで内容をつかむことが大切である。そのためにも学年に応じた本を読んだり感想を書いたりして、読書の質を向上させたい。

【受検者数】

74名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。